



MMCの事業活動

MMCの新しい事業体制について

財団法人マイクロマシンセンター専務理事 青柳 桂一

当センターにおいては、マイクロマシン・MEMS等のマイクロナノ分野に係る基盤技術の確立を図るべく、国・NEDOが主導する技術開発プロジェクトを積極的に推進しています。同時にこれらの基盤技術の普及・産業化を促進すべく、政策提言活動、産業交流・活性化事業、調査研究事業、標準化推進事業、普及広報事業等のマイクロナノ分野の産業化のための環境整備活動にも積極的に取り組むものとし、もってわが国産業の発展に寄与し、国際社会へ貢献することを目指しています。

新年度においてもこの基本的な考え方を継承して、いろいろな事業に取り組んでいきます。

まず、国・NEDOプロジェクト関係では異分野融合型次世代デバイス（BEANS）製造技術開発プロジェクト（平成20～24年度）を手がけるべく、現在応募中です。首尾良く採択された場合には、産学連携を図りいくつかの開発拠点を有する集中研を設置して、第3世代MEMS（BEANS）実現を目指す基盤技術確立のため全力を尽くしていくつもりです。また、高集積・複合MEMS（ファインMEMS）製造技術開発プロジェクト（平成18～20年度）が最終年度を迎えますので、最大限の成果を挙げるようにプロジェクトの完成を目指します。さらに、19年度で開発終了したMEMS用設計・解析支援システム開発プロジェクト（MEMS-ONEプロジェクト）については、プロジェクト成果としてのMEMS用設計・解析支援システム（MemsONE）の頒布・普及活動を強力に展開していきます。

次に、マイクロナノ分野の産業化のための環境整備活動関係では、産業発展を支援する諸活動を行うことを目的に発足したMEMS協議会が3年目に入ります。協議会参加メンバーも順調に拡大し、業務内容も充実したものになってきています。年々盛況になっている当該分野の国際展示会マイクロマシン・MEMS展は、幾つかのコンファランス開催も包含したマイクロナノ2008として本年も7月末に東京ビッグサイトにて開催の予定です。これ以外にもマイクロマシンサミットをはじめとする国際交流活動、MEMS市場調査や内外技術動向調査などの調査研究活動、各国を先導するMEMS材料・デバイスに係る国際標準化活動、MEMSファンドリーネットワークの運営やMEMSモールの開設などの産業化推進活動等、本年も多くの活動を推進していくこととしております。

皆さまの引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。